



<取材のお願い>

2024年8月30日

大島商船高等専門学校

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

アジアの学生が大島商船高専の練習船「大島丸」で体験航海 ～日本の高専生と共に離島で地球規模の課題解決を目指す～

大島商船高等専門学校では、9月8日（日）～9月14日（土）、フィリピン商船大学「MOL Magsaysay Maritime Academy」（MMMA）、国立高雄科技大学（台湾）、シンガポールマリタイムアカデミー（SMA）より、海事技術者を目指す大学生14名、大学院生1名、教員3名、計18名を招へいし（うち10名は自費による招へい）、「離島環境におけるSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた実務学習」をテーマに科学技術体験プログラムを実施します。

山口県東部の屋代島（周防大島町）にある大島商船高専は、海と山に囲まれた自然豊かなキャンパスで、優れた海事技術者や工業技術者を育成しています。本校が所有する練習船「大島丸」は電気推進ハイブリッドシステム船で、船員教育のための設備や海洋調査・研究の設備、さらには災害時に海上から人工衛星を活用し、臨時の携帯電話基地局を設置する支援船としての機能も有しています。

本プログラムの目的は、練習船「大島丸」での実務学習を中心に、SDGsをテーマとした地球規模の課題解決のための、科学技術に関する知識・技術・経験を習得することです。招へい者らが在籍する大学等は練習船を保有しておらず、練習船による合宿研修および体験航海は貴重な経験となります。また、日本の高専教育への理解を深めることができます。

具体的には、招へい者と本校を含む中国・四国地区の国立高専の学生が合宿形式で参加し、日本とアジアの学生で混成された少人数のグループによる体験型ワークショップを行います。課題学習で提示されたテーマに対し、AI活用技術、防災ネットワーク研究などを習得します。さらに、海上ではカッター（船）実習や水上オートバイ救助などを体験します。また、練習船での体験航海では退船訓練等の実務学習を行います。そして9月13日には最終報告会を行います。

本プログラムにより日本とアジアの学生が練習船や学生寮で寝食を共にすることで、異文化への相互理解や、英語によるコミュニケーション能力の向上に繋がります。さらに、グローバルに活躍する技術者や外航船員などの人材育成が期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流



計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、日本とアジアの学生が練習船で実務学習を行う様子、講義や講演を聴く様子、海上での体験学習の様子、最終報告会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の朴 鍾徳教授（国際交流室長）へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●講義 ●講演 ●体験航海：練習船「大島丸」での実務学習 ●海上での体験学習（カッター実習他） ●体験学習（錦帯橋他） ●最終報告会

【実施場所】大島商船高等専門学校 多目的メディア教室、練習船「大島丸」 棧橋、錦帯橋他

【研修日程概要】

9月8日（日）	午前：来日 午後：オリエンテーション、ガイダンス、各校紹介（大島商船高専）
9月9日（月）	午前：プログラムの概要説明、基調講演「SDGs を通じて、豊かで活力ある未来を創る」広島県ユニセフ協会・高田和美氏、グループワーク（大島商船高専） 午後：海上での体験学習（SDGs 課題 14：海の豊かさを守ろう）、カッター実習や水上オートバイ救助（大島丸棧橋）
9月10日（火）	午前：講義「AI 活用技術、防災ネットワーク」（SDGs 課題 9:産業と技術革新の基盤をつくろう）、研究室訪問（大島商船高専） 午後：特別講演「防災ネットワーク」コースタルリンク株式会社 瀧本朋樹氏、グループワーク、体験航海準備、大島丸ガイダンス（大島丸）
9月11日（水）	午前：体験航海（周防大島（本校）→広島）、退船訓練、外部参加教員による講演（SDGs 課題 16：平和と公正を全ての人に）、グループワーク（大島丸）、広島上陸 午後：体験学習（平和記念公園、原爆ドーム他）、停泊訓練（宮島、大島丸）
9月12日（木）	午前：抜錨後シフト（運転準備作業）、出入港配置（船橋、ECR、機関室他）、体験実習、宮島上陸、体験学習（厳島神社） 午後：体験航海（宮島→周防大島（本校））、電気推進を学ぶ（SDGs 課題 7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに）（大島丸）
9月13日（金）	午前：外部参加教員による講演（SDGs 課題 17:パートナーシップで目標を達成しよう）、グループワーク、最終報告会の準備（大島商船高専） 午後：最終報告会、修了証交付、まとめ（大島商船高専）
9月14日（土）	午前：体験学習（錦帯橋他） 午後：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

大島商船高等専門学校
（担当：岡田）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：太田）